



全国の学生から集まった夢を紹介!



タウンワーク **TOWNWORK** Presents

キャンパスライフ・プラスワン

Campus Life+1 通信

～教えて!みんなの夢～ Vol.11

学生の皆さんへの夢募集企画

「Campus Life+1」に

お寄せいただいた夢を紹介。

どのような夢を持っているのか?

その夢を持つに至った背景は?

今、どんなことに取り組んでいるの?

全国の学生の皆さんの「夢」に迫ります!

Profile

中部大学 1年生
片岡 瑞希さん
(18歳)

幼い頃から“医療”に興味を持ち、将来、看護の仕事に携わるために大学では保健看護学科を選択



誰もが“応急処置”の知識を持つ 世の中づくりに貢献し、医療の空白を埋めたい

私は、一人ひとりが応急処置の正しい知識を持ち、「いざという時」のために誰もが対応できる世の中に近づける一員になりたいと考えています。私は幼い頃から医療に興味を持っており、将来は看護の仕事に就きたいと考えています。高校3年生の時には自主的に講習会に出かけ、「救急法救急員」の資格を取得しました。そしてその後、日本赤十字社愛知県支部内にある、「愛知県赤十字救急奉仕団」というボランティア団体に所属し、日々、救護活動を行っています。主な活動は、名古屋市にある東山動植物園で、春と秋の土曜、日曜日・祝日に救護所を開設し、来園者の応急処置を行うことです。傷病者の方々の様子を迅速かつ丁寧に観察し、どんな処置が必要か先回りして考え、1分1秒無駄にすることなく対応できるように心がけています。場合によっては、救急車

での搬送が必要になるときもあります。

もし、日ごろの生活の中で、私たちがそのような場面に立ち会ったとき、一人ひと

りが正しい判断と処置をすることで後遺障害を軽くしたり、命を救うことができると思います。だからこそ、私は多くの人に応急処置についての知識を当たり前に持ってもらいたいと考えています。私がグランプリを受賞できたなら、まずは救急救命医療の発達したアメリカに留学し、救急医療について学びたいと思います。そしてその経験を、奉仕団内や大学の授業で伝えたり、将来的には救急法指導員の資格を取得し、指導員として携わる講習会といった場で、多くの方々に伝えていきたいです。



▲大学の授業以外でも、空いた時間があれば救護について勉強している。

夢への足跡

2001年 5歳

幼稚園の卒業アルバムに書いた将来の夢は既に看護師

2010年 14歳

自ら病院にアポイントを取り、4つの病院に計7回見学させてもらった

2013年 18歳

愛知県赤十字救急奉仕団に入団。大学も看護学科のある大学に入学

2014年 18歳

アメリカで救急救命の勉強をするために Campus Life+1 に応募

キャンパスライフ・プラスワン
Campus Life+1 では、
学生の皆さんからの夢を募集しています!

グランプリの方には
100万円[※]まで、
夢を実現できるチャンス!

ご応募はコチラから! 応募はWEBサイトで受け付けています。

右下のURL、2次元バーコードから
サイトにアクセスし、必要項目をご記入ください。

エンタク

検索

応募期間: 2014年9月21日まで

<http://entac.jp/>



主催: **TVAN!**

協賛: **TOWNWORK**

お問い合わせ先: 学生コミュニティサロン「エンタク」
TEL052-241-8100 (受付時間/平日9:00~18:00)

Campus Life+1の最新情報を掲載中!

エンタク

検索

<http://entac.jp/>

